

キャリアデザインカフェ

【秋田県秋田市】

総事業費	1,390 千円
交付金額	634 千円

地域の実情と課題

- ・令和4年度総務省就業構造基本調査における本市の女性の正規雇用割合は、35歳～39歳で47.0%へと急激に低下し（L字カーブ）、女性がライフイベントによりキャリアを中断し、再度正規雇用で就業することが困難な状況である。
- ・秋田市人口ビジョンの「年齢階級別の人口移動の状況」では、15歳から29歳の若年層において大幅な転出超過となっており、地元への就業・就職の展望を描けず、東京圏に進学・就職している現状が示唆されている。

事業の特徴

- ・出産や育児等のライフイベントによりキャリアが中断した女性などを対象に、実践的なデジタルスキルの習得と参加者同士の交流を通じて、自分らしく働き続けるモチベーションを高め、再就職や正職員転換へとキャリアアップを支援する。

事業の効果

- ・講座の参加者アンケートでは、1回目の講座では、参加者全員（100%）が「大変満足」または「満足」と回答しており、2回目の講座では、参加者の74%が「大変満足」または「満足」と回答し、満足度が高い事業とすることができた。
- ・講座の参加者から「キャリアアップやスキルアップについて前向きに考えられた」という回答が92.9%となり「AIに対する嫌悪感が和らぎ、役に立つと感じた」「求人などで求められるSNSスキルを習得したい」など自分らしく働くことへの意欲を高める成果があった。また、幅広い年代と就業形態の方が興味を持って参加し、スキルアップやキャリア形成へ前向きな意欲を促進することができた。

目的・目標

- ・事業目標の参加者数40人に対し、42人と達成率は105%であった。申し込み開始2日で定員に達したことから、デジタルスキルの活用や多様な働き方に興味・関心があると感じた。

【目標】事業参加者数 40人⇒【実績】42人（+2人）

連携団体

「秋田市男女共生推進会議」

【構成団体】秋田県立大学、秋田商工会議所、秋田人権擁護委員協議会、一般社団法人秋田県助産師会、秋田労働局、秋田県中央男女共同参画センター（指定管理団体－NPO法人いきいきFネット秋田）、あきたF・F推進員、市内事業所ほか

今後の課題

- ・申し込み開始から2日で定員に達したことから、女性のスキルアップ意欲、キャリア形成支援のニーズは非常に高く、多くの女性が参加できるよう開催方法等に工夫が必要である。
- ・様々な悩みを抱える女性の自立支援として、今後も継続的に事業を実施し、社会復帰と働くことへのモチベーションを高めるアプローチを続ける必要がある。就労につながるためのデジタルスキルの習得に向けて、参加者ニーズを踏まえた講座を実施していく必要がある。

キャリアデザインカフェ

育児や介護等のライフイベントでキャリアが中断された女性や、起業や在宅ワークなど多様な働き方を考えている女性のキャリアアップを後押しするため、仕事に役立つデジタルスキル講座を開催し、参加者同士の交流を通じて、女性が自己を見つめ直し、仕事と生活の両立を図りながら自分らしく働き続けることへの意欲を高め、キャリアデザインを考える機会を提供した。

内容（テーマ）	開催日	参加者数
自分の時間を大切にするための「ChatGPT」	令和6年11月2日	19人
動画をアップできる人になる！「SNS×動画のチカラ」	令和6年11月30日	23人

